

H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)					
施設名		笠原中央公民館		図書館笠原分館	笠原体育館
指定管理者名		(公財)多治見市文化振興事業団			
指定期間		5年(H23/4/1～H28/3/31)			
設置目的		地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。	
報告書類等の提出状況		良好			
運営・利用状況	利用状況	期待以上			
	市事業の実施	期待以上	良好	良好	
	自主事業	期待以上	良好	期待以上	
施設管理状況	施設管理	良好			
	備品管理	良好			
	その他管理	良好			
収支状況(円)	総収入	117,890,217			
	内利用料金収入	8,513,510			
	内指定管理料	99,974,000			
	支出	112,347,006			
	収支	5,543,211			
市民利用者の声の反映		良好			
全体的評価		期待以上			
		○中央公民館 ・長期間にわたる市民参加事業への取り組みを運用の柱にし、利用者と密接な関係を築くなかで、利用者とともに快適な施設環境づくり、親しみのある施設づくりを進めることができ、結果的に利用率、利用者数の大幅な増加につながった。 ・市民文化祭の継続的实施や利用者への細やかなケアをすることにより「またアザレアホールで演奏したい」との要望が上がるようになり、利用へと結びつけることができた。 ・地域団体と連携し、笠原地区の地域性を十分活かした事業を実施することができ、期待以上の成果を上げることができた。 ○図書館分館 ・定期的に企画展に取り組み、「いつも新しいことが発見できる」図書館を目指すことができた。 ・中央公民館や体育施設と図書館職員と連携し、図書館から施設の取り組みを発信するようにしている。 ・子育て支援センターにおいて、図書館笠原分館で開催している「おはなしの会」をボランティアと連携して実施し、定期的なおはなしの会を開催することができた。 ○体育館 ・利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズ事業展開を心掛けるとともに、苦情にも真摯に対応している。 ・安全性、機能性の観点から設備等の修繕や整備について積極的に対応している。 ・トレーニング室では利用者対象のプログラムを提供するなどして利用者を増加させ、リピーターとして定着させている。			
利用人数・前年度比増減率		延べ60,630人 (前年度比42.6%増)	延べ12,812人 (前年度比3.2%増)	延べ71,900人 (前年度比0.3%増)	
増減の理由		東濃合唱祭や合唱団の定期演奏会、市民参加型音楽劇の開催など「アザレアホール」の使用が大幅に増加したため。	特になし	特になし	